

用語解説

	語句	解説
【あ】	アーバンスポーツ	広い競技場等を必要とせず、都市のまち中でできる、音楽やファッションといった要素も加わったスポーツ。3x3(スリー エックススリー)や、BMX、スケートボード、スポーツクライミング、パルクール、インラインスケート、ブレイキン等が含まれる。
	e スポーツ	「エレクトロニック・スポーツ」の略で、コンピューターゲーム等を用いた対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。 国では、eスポーツの捉え方が検討されており、本市においても国内外の動向を踏まえ、検討していく必要がある。
【さ】	シッティングバレーボール	昭和 31 年(1956 年)にオランダで考案された、床に臀部の一部が常に接触したまま行うバレーボール。昭和 55 年(1980 年)にパラリンピックの正式種目となった。
	指定管理者制度	地方公共団体が、民間事業者等に公の施設の管理・運営を包括的に代行させる制度。民間事業者等のノウハウを活用することで、効率化とサービス向上を図る。
	スポーツ・インテグリティ	スポーツが様々な脅威により欠けるところなく、価値ある高潔な状態であること。脅威の例としては、ドーピングや、八百長、賭博、違法薬物、暴力、各種ハラスメント、人種差別、スポーツ団体の統治の欠如などがある。
	スポーツ協会	市民スポーツの振興や、普及、激励に努め、市民の自発的な身体活動による心身の健全な発達や、福祉の増進、明るく豊かな市民生活の形成、地域交流に寄与することを目的とした団体。姫路市では、令和6年12月現在、36 の競技団体が加盟している。
	スポーツクラブ21	地域住民の豊かなスポーツライフを実現し、スポーツを通じた地域コミュニティづくりを進めるため、平成 12 年度(2000 年度)以降に、各小学校区に設置された地域スポーツクラブ。姫路市には全 71 クラブ(69 小学校区+2地域)が設置されている。会員の会費による自主運営のクラブであり、「だれもが、いつでも、身近なところで」スポーツができることを目指している。
	スポーツコミッション	地域の様々な社会課題をスポーツの力を活用して解決する取組、すなわち「スポーツによるまちづくり」の取組を促進・支援するための組織。地域スポーツの振興などの「住民向け活動」と、スポーツツーリズムの推進などの「対交流人口向け活動」を担う。
	スポーツ少年団	昭和 39 年(1964 年)に東京で開催された第 18 回オリンピック競技大会に先立ち、昭和 37 年(1962 年)に日本スポーツ少年団が創設された。これを受け、姫路市では、昭和 39 年(1964 年)に青少年の健全育成を目的として、姫路市スポーツ少年団が創設された。令和6年 12 月現在、79 団体が登録している。
	スポーツ推進委員	市町村におけるスポーツの推進のため、連絡調整や、住民に対するスポーツの実技指導、スポーツに関する指導・助言を行う非常勤の公務員
	スポーツツーリズム	トップレベルのスポーツの観戦者や、スポーツイベントの参加者と開催地周辺の観光とを融合させ、観光客を呼び込むことで、交流人口の拡大や地域経済への波及効果等を目指す取組

	語句	解説
【な】	ニュースポーツ	20 世紀後半以降に新しく考案されたスポーツの総称。年齢や体力にかかわらず楽しめるスポーツとして注目され、代表的な種目としてグラウンド・ゴルフ等が挙げられる。
【は】	ブレイキン	ストリートダンスの一種で、音楽に合わせてダンスするスポーツ。パリ 2024 オリンピックで正式種目に採用された。
	フレイル	加齢に伴う体力の低下や、外出機会の減少などにより、心と体の働きが弱くなった、病気ではないが介助・介護を要する状態
	ポッチャ	ボールを投げたり、転がしたり、ほかのボールに当てたりしながら、ジャックボール(目標球)にいかにか近づけるかを競うスポーツ。重度脳性麻痺者や同程度の四肢重度機能障害者のために考案され、年齢や障害の有無にかかわらず、すべての人が一緒に競い合える。パラリンピックの正式種目になっている。
【や】	ユニバーサルスポーツ	年齢や障害の有無、スポーツの得意不得意等に関係なく、多くの人が一緒に楽しめるスポーツのこと。代表的な種目としてポッチャ、モルック等が挙げられる。
【ら】	レガシー	一般的には、遺産や先人の遺物のことを指す。スポーツ分野では、スポーツイベント開催後に残される長期的な恩恵のことをいう。
【わ】	ワールドマスターズゲームズ	国際マスターズゲームズ協会が4年ごとに主宰する、原則 30 歳以上のスポーツ愛好者であれば誰でも参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会